

2021年度 独創的研究助成費 実績報告書

2022年 3月31日

報告者	学科名	建築学科	職名	教授	氏名	向山 徹
研究課題	閑谷学校の歴史的・文化的価値に関する研究3-水利遺構の詳細表現のための調査研究—					
研究組織	氏名	所属・職	専門分野	役割分担		
	代表 向山 徹	デザイン学部・教授	建築設計・意匠	統括・調査・意匠的考察		
	分担者 河田 智成	広島工業大学・教授	建築史	歴史的考察		
研究実績の概要	<p>今年度は、石堀・石垣の高さ・幅・傾斜角度について、ほぼ全域に渡り実測した。その際、石堀内外の植生と地形との関係も目視調査し、石堀の境界としての様態の変化の要因として考察に加えた。</p> <p>次に、石堀の形状および地形との関係を写真測量による3Dモデリングとして、テクスチャーデータ・メッシュデータで可視化し、日本建築学会中国支部研究報告会に梗概を提出し、口頭発表を行った。</p> <p>今回は、変化しながら連続する石堀・石垣のなかから9か所に焦点を当て、調査を行った。具体的には図1に示す。A点：広庭に面した蒲鉾型石堀部分、B点：講堂前の吸込み井戸が接する蒲鉾型石堀部分、C点：西端から北へと向きを変える蒲鉾型石堀部分、D点：蒲鉾型石堀が石垣に変化する部分、E点：石垣が石堀に変化する部分、F点：石堀に開口が開いた裏門跡部分、G点：講堂裏手の石垣部分、H点：聖廟裏手の石垣が蒲鉾型石堀に変化する部分、I点：椿山東端の蒲鉾型石堀部分である。</p>					
	<p>図1 「(壁左等埋計画畫) の地形測量基図と埋計画の地形データ結合」作成！ p.06</p>					

※ 次ページに続く

研究実績  
の概要



図6 見下ろしのテクスチャーデータ

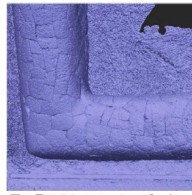


図8 見下ろしのメッシュデータ



図9 見下ろしテクスチャーデータ

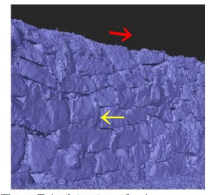


図11 見上げメッシュデータ



図10 石塀の3Dモデル

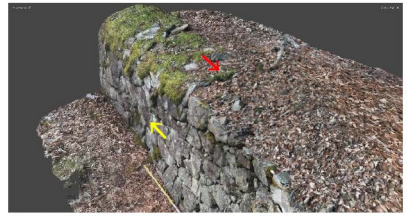


図12 石塀の3Dモデル

成果資料目録

2021 年度 日本建築学会中国支部研究報告集 第45巻  
建築歴史・意匠 908 閑谷学校の石塀について  
—閑谷学校の環境技術に関する研究3—